

第11回 日本臨床検査医学会 特別例会(2019)
テーマ「臨床検査医学、次のディメンジョンの幕開け」

例会長： 前川 真人(浜松医科大学医学部 臨床検査医学)

開催日時： 2019年4月13日(土) 9:00～17:00

開催場所： 名古屋国際センター 別棟ホール

(〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号)

参加費： 3000円

事務局： 浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座、附属病院検査部

TEL:053-435-2788 FAX:053-435-2096、E-mail:jslm2019chubu@hama-med.ac.jp

ホームページ： <https://www.jslm.org/branches/special/r11.html>

プログラム

開会の辞 9:35

シンポジウム1 9:40～11:40

[臨床検査医学、研究と臨床のニューホライズン]

座長：村上正巳(群馬大)、石井潤一(藤田医大)

1. マイクロサテライト不安定性から考える、患者や家族に寄り添う遺伝子関連検査
岩泉守哉(浜松医大)
2. 造血器腫瘍：ゲノム解析と分子メカニズム解析の連携により見えてきた病態
松井啓隆(熊本大)
3. 血小板活性化受容体CLEC-2の同定と臨床応用
井上克枝(山梨大)
4. ゲノムワイド研究から臨床応用へ～肝炎診療の現状と今後の展開
松浦健太郎/田中靖人(名古屋市大)
5. 生体内ペプチド断片の多様性とゆらぎ～検査医学の新たな視点として～
橋口照人(鹿児島大)

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための
「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。

例会長講演 11:50～12:20

座長： 矢富 裕(東京大)

臨床検査の品格と品質

前川真人(浜松医大)

ランチョンセミナー（シスメックス社共催） 12:30～13:30

座長： 登 勉（小山田記念温泉病院）

未病社会の実現に向けてのメッセージ：がんの予防と早期発見

落谷孝広（東京医科大学 医学総合研究所）

特別講演 13:40～14:40

座長： 前川真人（浜松医大）

皮膚疾患での臨床検査の意義

戸倉新樹（浜松医大）

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための
「臨床検査領域講習」1単位に認定されています。

シンポジウム2 14:50～16:50

[Good Laboratory Management 2019、プレジジョン・ラボラトリーの管理・運営]

座長： 山田俊幸（自治医大）、濱田悦子（浜松医大）

1. 医療ニーズの適合した臨床検査室の取り組みー 大学病院の立場からー
萩原三千男（東京医科歯科大）
2. やる気を引き出すマネジメントを目指して
～臨床検査医とのコラボレーションで可能となること～
菊池裕子（上尾中央総合病院）
3. 分析技術・IT環境・物流・ロボティクス等の超高速な
進化に適応したラボ設計とマネジメント・・・世界の周回遅れの検査室？
田澤裕光（SRL、日衛協、株式会社KBBM）
4. 臨床検査を支える「日本臨床検査薬協会」の取り組み
寺本哲也（栄研化学、臨薬協）
5. プレジジョン・メディシン時代の検査部長のあり方
宮地勇人（東海大）

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための
「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。

閉会の辞 16:50